

ごあいさつ



岐阜県剣道連盟

会長
堤 俊彦

会員の皆様には、日頃より本連盟発展のために御尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化し、剣道の稽古ができない状況や大会等も中止せざるを得ない状況が続きました。

特に残念なことは、開催県として、万全の体制で準備してきました「全国健康福祉祭ぎふ大会」が、中止になったことでもあります。今回は、中止にはなりましたが、令和七年には、岐阜県で開催することが決まりました。今回、開催に向けて取り組んできたことを活かし、再度、大会の成功と優勝を目指し、頑張っていたきたいと思います。

新型コロナウイルス感染症拡大が続き、スポーツ活動が制限される中、昨年、十月可児市に武道場「漱玉館」が新たに完成しました。岐阜県の剣道発展にも関わる道場として期待したいと思っています。

新型コロナウイルスは、まだまだ収束しておりませんが、できる限りの拡大防止対策をとり、今年も更に剣道に精進していただき、伝統ある剣道の普及発展にご尽力いただきたいと思っています。

今回ここに「第五十二号岐阜剣連広報」を発行するにあたり、全国大会や県大会で頑張っておられる選手の姿を掲載させていただきました。これからの剣道大会で活躍される皆様の少しでも参考になればと思います。

今後皆様との御協力を賜りながら、広報活動にも力を入れ、連盟の強化に取り組んでまいり所存であります。皆様の益々の御健勝をお祈り申し上げて、あいさついたします。